

【得点係・モッパ―】

- 各ピリオドの間には以下の時にコート全てを板目に沿う方向で、かけ足でモップをかける。
 - ※ 第1ピリオド開始1分30秒前になったら ※ 第1ピリオドが終了したら
 - ※ 第3ピリオド開始1分30秒前になったら ※ 第3ピリオドが終了したら
- タイムアウトがあったら、3ポイントラインの内側をモップがけする。
- ゲーム中に選手が転んだ場合は、必ずモップ(ぞうきん)をかけに行く。そのさい、選手と衝突しないように十分注意し、選手が逆コートに行っている間に急いでモップをかける。
- 得点板をコートの脇で操作する場合には、3ポイントシュートは自分で判断せずに、必ず審判の合図(両手をあげる)で確認する。
(連盟HP資料より)

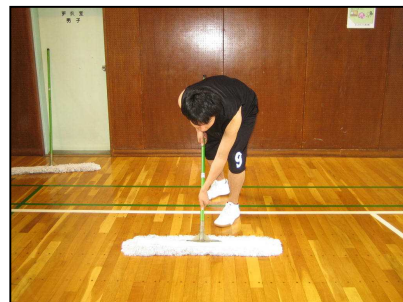
【指導にあたって】

□得点係

- 掲示は、試合開始前は「8」を表示し、以降、7分台は「7」、6分台は「6」、...、59～30秒が「1/2」、29～15秒が「1/4」、14～0秒が「0」の表示を行う。監督席からは、TO席のデジタイマーが見えないので、しっかりと表示するよう、指導したい。

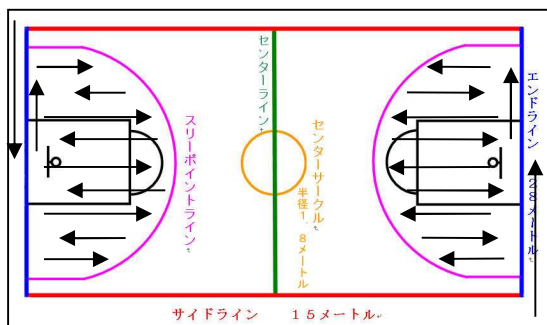
□モッパ―

- 板目に沿うことを徹底。
- モップをかける時は駆け足で、モップを浮かせないように(モップが浮いた場所にゴミが落ちてしまう。)掛ける。
- 一礼(あいさつ)をし、コートに入り、両サイド同時に進めていく。そして、両コート同時に終わるように心掛け、コートを出る時は、挨拶をして終わる。
- いつでもすぐにモップ(ぞうきん)を掛けられるように、試合に集中し、審判が呼んだ時には駆け足で向かう。
- コートの床面に関しては、モップではなく、雑巾を使用する(オホーツク管内では美幌スポーツセンターがそれに当たる)
- 選手が転び、雑巾がけが必要な際は、二人組で、転倒場所に向かい、一人が雑巾を掛け、一人が試合の様子を観察し、試合の妨げにならないよう、スピーディに行う。

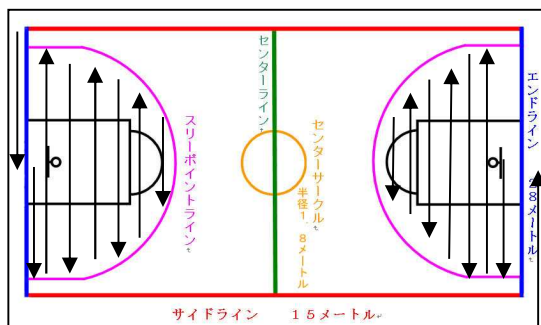


【モッパ―が各コートの角に待機している場合のモップの掛け方】

☆板の目が縦の場合(タイムアウト時)



☆板の目が横の場合(タイムアウト時)



【メモ欄】